(910640)

sun comics

アタゴオル物語

ますむら ひろし

0049

ISBN4-257-91640-0

C8279 ¥380E

朝日ソノラマ

定価380円

サンコミックス

月あかりに照らし出された、白銀の発光体——アタゴオル。はるか彼方で、透きとおった時間をきざむ故郷——アタゴオル。熱く、ゆるく、陶酔感をよびおこすリズム——アタゴオル。シリーズ全6巻ここに完結!!

sun comics

アタゴオル物語

6　ますむら ひろし

アタゴオル物語 6

ますむらひろし

サンコミックス

0049
ISBN4-257-91640-0
C8279 ¥380E
朝日ソノラマ
定価380円

(910640)

著者近影

アタゴオル物語⑥

昭和56年5月30日初版発行
昭和58年7月30日3版発行

著者　ますむら ひろし
©Hiroshi Masumura
発行人　宍久村 繁
印刷　フォト印刷株式会社
製本　大和製本株式会社

発行所　株式会社朝日ソノラマ
東京都中央区銀座4丁目2番6号　第2朝日ビル
郵便番号104
TEL(563)6021　振替 東京2-40311

アタゴオル物語

6　ますむらひろし

夜（よる）の気流（きりゅう）

あ

アタゴオル物語⑥

ジーーー
しめしめいたぞ
ジーーーー
くーーっ
食欲をそそるあの鳴き声!!
待っててね
今つかまえて
あげるからね
バシッ
ミッ
へったくそだなあ
う〜〜

アミのあたる所がずれすぎてるよ
つかまえたら食えると思うと勘が狂っちゃうのよォ
いいか見てなよ
オーシィツクツク
オーシィツクツク
わおう
ツクゼミ猫ゼミからしゼミ

うーっ ずいぶん とれたなあ テンプラ ありがとう!!

しかし セミって そんなに うまいもんかね

うまいわよーっ ゆでてもいいし ツクダニにしても いいし からあげも いけるのよ!!

あれ…… かき氷屋だ

テンプラに セミとってもらったから オレごちそうするわ

なんに いたしましょう

リンゴに
ミカンか
…あれっ?

イモ焼酎
えっ 焼酎の
かき氷があるの?

ええ今年から
始めたんですよ
ようしゃ
オレそれに
するわ
オレは
ミカンがいいや

うへへ
くーっ
いいニオイ

フラフラ

うーっちょっと酔ったかな……
大盛3杯も食えば酔っぱらうよ
フラ
うへへ家に帰ったらさっそくこのセミを食べちゃおう……

からあげにしようかなそれともゆでて食おうかなあ

ポロ
う

カチャー

ミッ
ミミッ
あっ
フラ
ああセミッ

コラーッ
もどって来い

う〜〜っ
みんなにげてしまった
しょうがないなあ
またつかまえればいいよ

くっそう
空さえ飛べれば
あんなセミすぐに
つかまえられーのにっ

よし

オレは
飛ぶぞ

アタゴオル物語⑥

空を飛ぶ!?
そうよ 空を飛んで セミを全部 つかまえて やるのさっ

でも どうやって 空を飛ぶん だい?

フッフッフッ あさってのお昼に なったら大空を 見上げてごらん
じゃあね

それから2日後

フーム 空を飛ぶか……

あいつ どうやって 飛ぶつもり なんだろう?
きょうのお昼の 空を見上げてごらん とかいっていたよ

イエ
あれ

お早ようさん

おっ
すごいうで力だな…
フーム……
この羽根ずいぶんしっかりと作ってあるな
2日もかかったのよ

念のために助走の車も作ったんですよ
やあヒデ丸

あれ!!それじゃこの羽根作ったのもヒデ丸かいっ

はいっオイラが設計して作ったんです
そうか……どうりでよくできてると思ったよ

うぅ〜〜〜っ
オレだって
設計したんだぞーっ

おまえが
設計した
ものなんて
あるのか？

ヒデ丸
あれをつけて
くれたまえ
ハイ

ククッ
鳥そのもの
でしょう

そんなもの
2日もかかって
作っていたのか

そうよ
空を飛ぶには
鳥の姿に近づく
ことが大切なのよ

オッいい風が
吹いて来た
ようし
あの坂の上から
やるぞう

アタゴオル物語⑥

ヒデ丸の作った
羽根はしっかり
できていたし
ヒデヨシの腕力が
あれば飛ぶかも
しれないぞ

おりゃ
ガラガラガラ

アタゴオル物語⑥

パタパタパタ
うあ

バギッ

グルグルグルグル

キャー!!

いでで

おい
だいじょうぶか
フラフラ
う～～っ
だいじょうぶだよ

しっかりと
設計したのに
やっぱり
だめでしたね
腕の力は
あったんだが
体重が重すぎ
たんだよ

ヒデヨシ
けがは
なかったかい
あっ
ぬかの目博士

つりをしてたら
ヒデヨシが落ちて行くのが
見えたんだがいったい
どうしたんだい？

羽根をつけて
空を飛ぼうと
したんです

ねえ博士
オレ空を
飛びたいのよ〜〜っ
そういえば……
しばらく前 博士も
空飛ぶ装置を作って
いましたね
えっ
本当

博士!!
その装置に
オレを乗せて
ほしいのよーっ
いやヒデヨシ
空飛ぶ装置は
失敗したんだよ

失敗した?
そうだよ
残念ながら
わしの力では
完成できな
かったんだよ

あ〜〜っ
もっと
飛んで
いたかったなあ

さっき風に乗って
舞い上がった時
どんな感じだった?

アタゴオルの森や湖が
下に広がっていて
すごく気持ちよかったわよ

アタゴオル物語⑥

そうか……あの空の上を風に乗って流れたらいい気持ちだろうなあ
そういえば……わしも小さい頃はパナ豆でよく遊んだなあ
パナ豆?
それどんな豆ですか…?
あれ……みんなパナ豆を見たことないのか
ええ
ぬかの目博士の家
この温室の中に……
ホラ あれがパナ豆だよ

へ――っ銀色のサヤだ……

わしが子供の頃は蛇腹沼の岸にこの豆の木がたくさんはえていてね夏が来るとこの豆を使って大空で遊んだものだよ

えっ博士この豆で遊べるのォ!?

そうだよ
今夜鏡岩に
バナ豆を持って行って
ごらん

それから
チンプラ
らん
らん
らん

凪になれたら
この棒を使って
穴をひとつあけて
みなさい

穴をあける?

イエーッ
バナ豆っ

ヒデヨシ
なわを
つけたかい？
つけた
わよーっ

よし
それじゃ
豆を割ろう

おりゃっ
パカッ

フフフ

あとは
風を待つ
んだ

んーっ
早く
吹かないか
なあ

おっ

風だ
風が吹いて来たぞ

ようし
行くぞ

それ

イエーッ

わおーっ

キャーッ
飛べたわっ
今度こそ
飛べたわよーっ

あらん

どうして
オレのだけ
上に昇って行か
ないのかしら

ヒデヨシ
体重を後に
かけるんだよ

こう
?
ぐっ

さて…
やって
みようかな
イエーーッ
あれチンプラ
どうしたん
だい？
ぬかの目博士から
この棒で
サヤに穴を
あけるように
いわれたんだ
穴をあける!?
チンプラッ
穴なんかあけたら
落っこちるわよーっ
小さい穴を
ひとつ
あけるだけ
だから
だいじょうぶ
だよ

でも……どうして穴なんかあけるんだろう?
フーム

よし……この辺にひとつあけてみよう

ズブッ

スポッ

ポーピー
あ
ピュー

風が吹きぬけて
音色を出すんだ

らん
らら
らんらんらん

ヒデ丸オレたちも
あの棒かりて
穴をあけようか
そうしま
しょう

ニャンニャカ
ニャン

よし
鳥霧山まで
流れて行こう
イエーッ

ああまるで
風の音楽会
ですね
ホントに

らっ!!
風向きが
変わったわ

えんど

花梨の天

アタゴオル物語⑥

………エサがまずいのかなあ………
イエー
やあヒデヨシ君
うーっ
つれてる？
きっぱりですよ
きのうテンプラが花梨島ででっかい髭マスを7匹もつったのよ★
オレこれから花梨島へ行くんだけどいっしょに行かない？
花梨島!?

ホラ
あの島

あれが
花梨島だよ

チンプラが
最近見つけた
髭マスの
穴場なのよ

髭マスか……
私は海で育った
せいか山の魚は
なかなか
つれないのです
ほほ

ほほほ
ほほっ

こんにちは
チンプラくん
イエーッ
あっ
髷あげ
丸さん
こんにちは

何匹つれた?
まだ2匹だよ

おっでかいっ

よーしぐあんばるぞう

うへへ今夜は腹いっぱい鮭マスが食えるわ
30分経過

くっそーっぜんぜんひかないぞーっ

つりは待つことがかんじんなんだよ
フーム……私もちょっと休憩しようかな……

あれ

テンプラ君!!
これは何ですか?
……
ナスナの遺跡なんです

ナスナ?
ええ 古代アタゴオルの時代のひとつなんですが

ナスナ時代のものは文書がほとんど残ってないためにこの遺跡も何に使ったのかまったくわからないんです

……その文字は……？
それはナスナ文字で

「瞳を閉じて草の中花梨の天に宿る星」と彫ってあるんです

……不思議な言葉ですね……

昔からこの言葉を解こうとしてるんですがどうもわからないんです

「瞳を閉じて草の中」……これはこの草に寝そべって目を閉じることだと思うのですが
「花梨の天に宿る星」これが解けないんです

フーム……
花梨とはくだものの花梨のことじゃないでしょうか

ええ……僕らもそう考えたんですが「花梨の天に」というのは
ナスナ時代の人が夜空の星座のうちのひとつを花梨座と呼んでいたのか……

あるいは空をいくつかに分けある部分を花梨と呼んでいたのか……その辺がわからないのです

言葉が解ければこのくぼみの意味もわかるのですが……

フーム……

あの言葉の意味もそのくぼみのナゾもすでに解けているんだよ
えっ

「瞳を閉じて草の中花梨の天に宿る星」……
昔の人たちはねそのくぼみを
料理？

料理に使ったのよ

そうよ
「花梨の天」とは
花梨の天プラの
ことなのよ

このくぼみで
花梨の天プラが
揚がるのを
食べる人たちは
草原で目を閉じて
じっと待っていたのサ

そっ
それじゃ
「花梨の天に
宿る星」の
「宿る星」は
どうなるんだよ!!

あんまり
天プラがうまいので
空からお星様が
食べにくるのよーっ

……どう?
これが
正解だよ
ちっとも
正しく
ないよ

ああ……

……どうも
近頃
体がだるい
わ……

毎日酒飲んで
ゴロゴロ寝てる
からだよ……
少し運動
しなければ
だめだよ
運動か……

フーム……ひさしぶりに
鉛靴でもはこうかしら
「花梨の天に
宿る星」
……か……

それから
4日後

……
なんだろう
この実は？
いいニオイが
しますね

よし
ひとつかじって
みよう

ガリ
ガリ
ガリ

う
ペッ
うえっ

酸っぱいいっ

ハアハア
ドスッ
ドスッ

カッ
カツラ
水くんで
来てくれ
親分おう

ハア……
やっぱり飴の靴は
重たいなあ
ハア

これだけ
重い靴で走れば
体がじょうぶに
なるわ……ハア
ハア
ポキッ

ドスッ

くっ靴
重いっぷ
うっぷ

ロンロン
♪ロン♪

ロン♪
ロン♪
助けて　ぐぷっ

がぼ
うぷっ

ロン
ロロン

ぐぷ
ぐぷ

スポッ

フーッ……
死っ
死ぬとこ
だったわ

そうだ!!
それより
靴をとりに
行かねば……

くそーっ
カツヲの
野郎

フフ
あったわ

それから2日後
テンプラの家
ヒデ丸の
話だと
ほとんど
寝てない
らしいよ

そうか
庵あげさんも
始めると
とことんやる方だ
からなあ

「花梨の天に
宿る星」……か

こんにちは
テンプラ君
あ……
パンツ君
こんにちは

とうとうあの
言葉の意味が
わかりまし
たよっ

えっ
本当
ですかっ
はい!!
あのくぼみには
花梨を置くん
ですよ

花梨を置く……

「花梨の天に宿る星」
というのは
花梨の天 すなわち
置いた花梨の真上に
宿る星……
真上に……
来る星を

草原で
瞳を閉じて待つ
のです

……そうか!!……
さっそく
今夜
やってみま
しょう
去年の秋
やってみたんです

えっ

オレも去年
唐あげ丸さんと同じ
推理をして
やってみたけど
何も起こらな
かったよ

……そっ
そんな……!!

……せっかく
解けたと
思ったのに……

フーム

…………

唐あげ丸さん
気長に
考えた方が
いいですよ

そうですね……
どうも私は
思いつめてしまう
性格なんですよ
ほほほっ

イエーイ
やあ

あれ
そのボンゴ
いつものと
ちがうね

そうよ
これ蛇腹沼の
水の底で
拾ったのよ
ポン

アタゴオル物語⑥

へえ

どうりで
ずいぶん
古っぽく
見えたよ

でも　いい音
するわよ
ボーン

ボボン
ボン

あれ

どう
したの？
ヒデヨシ
……
もっと
たたいて
みてよ

イエッ
ボボボボボ

ナスナ文字だ

ボ
ボ
ボッ

ボ
ボ
ボッ

………「花梨島の……くぼみに

ひとつの……花梨置き……水平線より……水鳥座の瞳が……昇る時……
水鳥の…星の間隔でたたく…その鳥が水より舞う時…やむ」

………

フーム水鳥座が昇る時か……

…こっ
このボンゴがあのくぼみのナゾを解くカギだったのか……

しかし……
「水鳥の星の
間隔でたたく」
ってどういう
ことでしょうか?

……テンプラ……
水鳥座の
星の並び方は
どうなってる?

あの
スミ草の葉なら
わかりやすいな

穴をあけた所が
星の位置だよ

嘴の星が
ラベ……次が
ラム・アムレ・
ホズ・パラフ
そして尾の部分が
アプ

……この6つの星と
星の間隔で
リズムをきざむん
だよ……
そうか
……
すると

ラベとラムの間を
1とすると……
3……2……1……
3……3だよ

よし!!
たたくリズムは
1・3・2・1・
3・3だ
オウ!!
オレは
やるぜ

さっそく
花梨を
とりに行きましょう

その夜

ムフフ……
1・3・2・1・
3・3の
リズムか……
ようし ぐあん
ばるぞう
いよいよ
このナスナの遺跡の
なぞが解けるのか
……

そろそろ水鳥座の瞳が昇り始めるぞ
来たか!!

よし今だっ
イエッ
ボン

ボボボン
ボボン
ボボン

イエッ

もう少しで
尾の部分が
水平線に出るぞ

ボンボンボンボン

よし
やめ

よう
…あれ？

なんだか
この花梨
色が変わった
みたいだね
ヒデヨシ君が
ボンゴをたたいて
いるうち
青っぽくなって
きたんですよ

うへへへっ
うまそうな
色だなあ
かじりたく
なるわあ

花梨の天に
宿る星か……
よし……瞳を閉じて
草に寝そべってみよう

花梨の天に宿る星か……
秋の星が
ゆるやかに

やがて ゆっくりと
水鳥座の星が

花梨の
真上に
来ました

ボボボン
ボン
ボボン

ボン

ボボボン
ボンボン

アタゴオル物語⑥

ボンボボン

ポポポンポ
体が……
あっ
……いい響きだなあ
……花梨からオレのたたいたボンゴの音がするわ……

……このアワ……

水鳥座の方向に流れて行くぞ……

……らっ

あっ……っ

オレたちの星……ずいぶん

えんど

金色の花びら

……空気のかわき
水の音……

……ああ
私は今
秋のまん中に
いるんだなあ

アタゴオル物語⑥

お

エサをぬすんで
食うのもうまいが
……うう……いずれは
食わねばならん
きっ金色の魚!!
くっそうくっ
ぬあんとしても
つかむあえる
ずおういえあう

モリも
つりざおでも
だめとなると
……どうすれば
いいのかなあ

……フーム

親分!!
金色の魚を
つかまえる
方法を
見つけたって
本当ですか
む!!

本当さ?
あの魚はりこうだから
つり針やアミには
かからないんだ
しかし
どんなりこうな
魚でも
つかまえられる
方法がひとつ
あるんだぜ

いったい
どんな
方法なんですか

きのう水霧森で
キノコとりしていて
見つけたんだよ
早く
見たいなあ

貝みたいだったけど
うまくけずらないとね

……あれ
パンツ
そのポケットに
何入れているんだい?

そうだ…これチンプラに
貸そうと思って持ってきたんだ
この本
題名が
変わってるん
だよ

「沼の岸に浮かんでいた
金色の花びらを
ひろった私は次の日
森にいってなにげなく石の体に」

……フーム……

この前海賊古本屋に
いった時みつけたんだけど
その本の中身は
毒キノコの見分け方が
書いてあるんだよ…
…毒キノコの見分け方に
しては題名がおかしいね

そうなんだ
それでテンプラにも
読んでもらおうと思ったんだよ

沼の岸に浮かんでいた
金色の花びら…か
…よし読んでみよう

………
たしか

この先に
あったんだ
木や葉は見たこと
あるけど貝を
見るのは
初めてなんだよ

オッ
あれだっ

すごい…!!

……大きな貝だなあ

うまくけずれたらみんなでオクワ酒屋にはこぼうぜ

それからしばらくして
コンコン
コン
コン
コンコン

ずっと昔このあたりは海の底だったんだな
それにしてもこの貝の名前なんていうんだろう…

それは大うず貝だよ

わしはこの近くに住む
モガチウという
もんだが　あんたたち
化石に興味がある
ようだね

はい
そうかい　それじゃ
我が家で茶でも
飲みながら　わしが
集めた化石を
見ていかんかね

これは青身魚といって
烏霧山の石切り場で
見つけたものだよ

えっ
烏霧山で？
そうだよ
あそこからは
よく化石が
見つかるんだ

フウ……
こうして黒炭紀のシダの化石にかこまれて珈琲を飲んでいるとふしぎな気持ちになりますね

テンプラ君は化石を見ていると何を考えますか?

時間のことを想います

とてつもない時の流れ………遠い昔 化石がまだできなかった頃のことや……
石にかこまれて止まってしまった死後の時間のこと………

まったくそのとおり!!化石を見るたび私も化石たちが生き生きとしていた風景を想ってしまうのです
風にゆれるシダや太古の大空をいく翼鋼竜

翼鋼竜?

わしが見つけた化石のうちではこれが最大の発見だね
わしがこの翡銅竜を発見したのは5年程前のことだよ

骨が緑色だ…!!

しかしすごい化石だったな

そうだね……ところでさっき借りた金色の花びらの本この前借りたつりの本といっしょにかえすからね
いいよじゃあな

……沼の岸に浮かんでいた金色の花びらをひろった私は

……次の日……森にいってなにげなく石の体に……

それから2日後
ザバッ
くそ〜〜

いくら水くんでも沼の水はさっぱりへんねえぞ——っ

あ〜〜っ魚が食いたいよ〜〜っ
パタパタパタ

やあヒデヨシくん
オッヒデ丸!

ヒデ丸!! 知恵をくれえ光る魚をつかまえる方法を考えてくれえっ

しかしヒゲ丸
こんな方法で
つかまるのかなあ

その魚が水面から
はねるのはこの辺が
一番多いんでしょ
はねた時が
勝負ですよ

オーイ
バカ猫
何やってんだーっ

バカドラ
ネコ団!!
おまえたちに
つかまえられ
ない魚を
オレがつかま
えるのよーっ

デブな
おまえに魚は
つかまらないぜ
オレたちゃ
沼の水をくみ
あげてるんだぞう
毎日100ぱいくんで
1年たったらもう
たいへん!! 沼の水は
すっからかんさっ
ハハハッ
バカ猫
おまえはブタだぜ
なんだ
とオッ
あっ
ヒデヨシ
おっ
ヒューッ
それっ
ドッ
イエッ

わおっ
ペタッ
あっ
やったぞう
ザブーン
フフフッ さっそく この背中から 食ってやろう
シュクーッ
それでは いただきま

ゴリギリ

化石は
何度見ても
あきない魅力が
あるな
そうだね

……ところで
パンツから借りた
毒キノコの本……
どうもあの題名は
変だな

オレもそう思うんだ
あの本を書いたパリン丸
という猫はキノコのことは
無関係にあの題名を
つけたような気がするんだ

「沼の岸に浮かんでいた
金色の花びらを
ひろった私は
次の日森にいって
なにげなく石の体に」……

この題名で
わからないところが
3ヵ所あるだろう

うん…金色の花びらは
なんの花なのか
それから…石の体とは
なんなのか
そしてパリン丸は
石の体にどうしたのか?

…石の体…
…金色の花びら…か

ナゾの題名を
つけながら中身は
ただのキノコの本
だなんて……
あの本を書いた
パリン丸とはいったい
何者なんだろう…?

ヒデヨシ君
だいじょうぶ
ですか
いでででで
あれ

ようヒデヨシ
どうしたんだ?
ううっ
テンプラ
オレ金色の魚を
もう少しでつかまえる
ところだったのよォ

えっ あの
光る魚を!?

そうよ
ぐっと抱きしめて
ガブッとかじろうと
したら沼の底の
岩に顔がぶつかっ
たのよっ
くっそォ〜っ

あれ……
テンプラ君たち
どこへ行く所
なんですか？
恐竜や
エビの化石を
見にいくんだけど
いっしょにいかないか？

エビの化石ッ
うへへへっ
うまそう
だな〜っ

…エビの化石はいい感じ
だったけど　あの緑色の奴は
食欲がわかないなあ

あれは
翼銅竜といって
遠い昔この辺に
住んでいた
ものだよ

あんなの食っても
うまくないだろうなあ……
やっぱり食うなら金色の魚が一番だなあ

金色の魚ってはおずき沼に住むあの光る魚のことかい？
そうよォ

さっきオレもう少しでつかまえる所だったのよォ

ほう……しかし……
あの光る魚は尾ひれの形から見てもずいぶん大昔からあの沼に住んでいるようだな……

そういえばアタゴオルの湖について書かれている古書の中にもあの魚のことがでてましたよ

古い本といえば……
話は変わりますが
モガチウさん金色の花を見たことはありませんか？

金色の花？
見たことないな…
なんだねその
金色の花というのは？

「沼の岸に浮かんでいた
金色の花びらを
ひろった私は次の日
森にいってなにげなく
石の体に」という題名で

キノコについて書かれた
本を読んだのですが
金色の花びらと
石の体という所がどうも
わからないんです

石の体とは
化石のことじゃ
ないかね……

化石!?

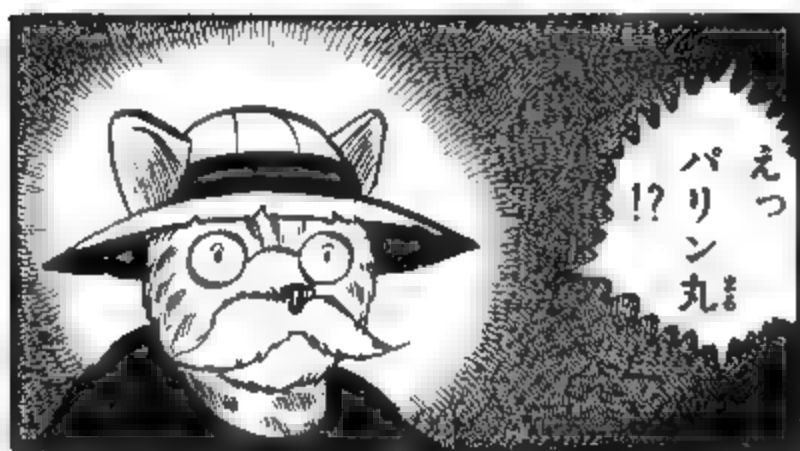
そう
昔 化石を研究
してた者たちは
化石のことを「石の体」と
呼んでいたそうだよ

石の体が化石だとすると
「金色の花びらをひろって
次の日森にいき
なにげなく化石に」
となるね

金色の花びらをひろって
……化石に……か

ところで
チンプラ君
その本は
だれが書いた
のかね

パリン丸という
猫だそうです

えっ
パリン丸
!?

……パリン丸が書いた本……!?

モガチウさんはパリン丸のことをなにか知ってるんですか?

パリン丸といえば今から200年程前にアタゴオルで初めて魚の化石を発見した猫で化石のことをずいぶん研究しキノコにもくわしかったといわれているんだが
今まで彼の書いた本はまったくみつかっていなかったんだよ

そうなんですか……するとあの本はかなり貴重な本になりますね

……金色の花びらをひろって……森の化石に……

金色の花びらがなんの花なのか……それさえわかればいいんだが

今まで金色の花なんて
見たことないし……
植物図鑑にものって
ないしな……
ザザク
ザク
オッ
すずしい
風がふいて
きたわ

頭のいたみも
消えてきたし……
ようしこんどこそ
あの魚をつかま
えてやるわよ

ヒデ丸
あのさ
あれ

ヒデヨシ君
かたに何か
ついてますよ
ん？

あら

これは……
鱗だわ

鱗……

そうよ
さっき金色の魚に
抱きついた時体に
くっついたんだわ
ふふ
いいニオイ
がするぞ

ザワ
ザワ
秋風か…

ヒュ—ッ
あら

ヒラ ヒラ

金色の
花びら

ヒラ ヒラ
こらこら
待て待て

アタゴオル物語⑥

バサッ
オオッ
翼鋼竜(はどうりゅう)が

パリン丸がひろった
花びらは
金色の魚の鱗
だったのか…

金色の魚……
それにしてもあの魚

たった一枚の鱗で
化石を生きかえ
らせるとは!!

貝銅竜は
高く舞い上がり
やがてゆっくりと

風(かぜ)を編(あ)む

うぅぅっ
寒いですねえ

アタゴオル物語⑥

ねえ親分この眠り花粉を吸いこんで冬がすぎるまで眠っていましょうぜっ

そんなものを吸って寝てたらこごえ死んでしまうぞ
それよりいい考えがある

今夜サンゴの森の服屋に行ってごっそりと服をかっぱらっちゃうのさ
いいぞっ
さすが親分!!

それではさっそく寝ぐらに帰って今夜の作戦をたてようっ

らんらん風は〜〜っ冷たく〜〜っ吹いて〜えいるので〜っ

落ち葉は
パラパラ
楽しそーっ

ヒデヨシ
そんなかっこうで
寒くないのかい？
ちっとも
平気だ
ぞう

その点
人間は大変だね
冬が来ると
厚ぼったい服を
着たりしてさ
人間ばかりじゃ
ないよ
パンツや唐あげさんを
見なよ 猫だって
冬になれば冬の服を
着るんだよ

パンツや
唐あげおやじは
猫としてはまだまだ
未完成なのよォ

真冬のふぶきの中を
服なんか着ないで
かけまわってこそ
本物の猫なのよーっ

それじゃアタゴオルで猫として完成してるのはヒデヨシだけだな

ウームわしとしてはもっとふえてほしいんじゃがなげかわしいことじゃよ

急にスミレ博士になるんじゃないよ
ホホホテンプラ君…あなたにはわしの親友のヒデヨシ君がいろいろとお世話になっているんでね

毎年冬になるとその古びたマフラーをぶらさげている君にわしが新しいやつを買ってあげましょうぞ

いらないよ……だいたい
このマフラーはアタゴオルの森じゃ売ってないんだよ

ホウ……しかしそんな古いのよりは森のお店で新しいのを買った方がいいと思うんじゃがね

このマフラーはアタゴオルのマフラーとちがうんだよ
ちょっと巻いてみなよ

フ…ム……いったいどこがちがうというのかね…

ヒューッ

あらっ

どう？

ヒュー

そのマフラーをまくと
冷たい風が体を通りすぎる時
あたたかく感じるんだよ

オオッ
あったかい!!

うら〜っ
いいなあ……
テンプラ
これどこで
買ったんだ?

4年程前の秋にね
鳥獅山にキノコとりに行った時
川セミ峠で毛糸編みの
じいさんから買ったんだよ
川セミ峠か
ようし
オレも買いに
行こう

今峠に行っても
いないよ……
あのじいさんは
旅の行商猫
だったから…

あ〜っ
オレも
ほっしいなあ

毎年 秋になると
伝言林にお知らせ板を
ブラさげてから峠で数日間
店を開くんだけど
去年も今年も来て
いないんだよ
うくっ
伝言林に
お知らせ板が
さがってないの
か〜〜っ

うんオレ新しいマフ
ラーがほしいんできのうも林に行ったん
だけど やっぱりさがってないんだよ

伝言林

………
ないなあ…

おっ
……

みなさん　かわいそうな私に
紅マグロをめぐんで下さい
マグロもいいが酢ダコもいい
ああ食いたい
——蛇腹沼ヒョウタンの家
ヒデヨシ——
代筆　ヒデ丸

あいつ……こんなものさげればだれかが何かくれると思ってるのかなあ

……それにしても……きょうもお知らせ板はさがってないし
毛糸編みのじいさん…いったいどうしたんだろう

オレたちゃ欠食ドラ猫団
……あれ

おいカツラどうしたんだっ
オレあのね

よいしょっ
アタゴオルのみなさま
こんにちわ
2年ぶりに川セミ峠で
店を開きます
満月の夜から4日間です
あたたかい冬のために
毛糸服をどうぞ
——ランポン——
……なんだこの板

きょう朝散歩してたら林にいっぱい板がブラさがっていた

毎日寒いから夜これ燃やしてあたたかくなりたいからオレここまで持って来たんだよ
そうか!! ようしすみ家に運ぼう

オクワ酒屋
よう
イエッ

テンプラ……今年も毛糸編みのじいさん来ないようだなあ
うんどうしたんだろう

アタゴオル物語⑥

かなりの年だったから体でも悪くしたのかなあ…
う〜っマフラ〜ほし〜っ

オレも買いたいと思っていたんだよ……

……しかしテンプラそのマフラーの模様いつ見てもふしぎだね…

フーム

この模様どうやって考えたのかな……
これはねデタラメにやったんだよ

いやデタラメのように思えるけどどうもそうとは思えないんだ

この模様もそうなんだけどオレがふしぎに思うのは
あのじいさんどうして森に来ないであんな山の中の峠で店を開くんだろう

そういえばそうだよな…

ねえパンツオクワさんはっ
オレが来た時いなかったよ

そうか
フフッただで飲めるわ

これこれ正々堂々とツケとけよ
そうね

やあいらっしゃい
こんにちわオクワさん
うっ

といいつつ3杯ぐらいはただでひっかける
ぐびっ

つりに行って来たんですか?

うん
鳥霧山の追いかけ沢まで霧魚つりに行ったんだけど
ぜんぜんだったよ

あれ……その帽子の模様…!!

…ああっ

帰る途中
川セミ峠で
毛糸編みのじいさんから
買ったんだよ

えっ

本当
ですかっ
うん
きょうから店
開いてるんだって
いってたよ

…するとお知らせ板をかけずに店を始めたのかな……
今夜あたりかけるのかもしれないな

フフ〜ッ
あったかい
毛糸の
マフラ〜ッ

よし明日
早く起きて
買いに行こう
イエーッ

まふまふらあらあらんらんらん!!

ホラ早く来いよ
ハアハア

ハア……森の中に店を出せば買うのも■なのに

なんでこんな山の中に店を出すんだあハア……

ハアハア
まだかよォ〜
もう少しだぞ

毛糸服はいらんかねー

こんにちわーっ

年だもんでよ
腰が痛くて
去年は温泉に行ってたんだよ

今年はたくさん
新しいのを編んできたから
ゆっくり見てってくださいな
はい

どれにしようかしら
ガサガサ

フーム

ねえ おじいさん
もっと大きくてハデなやつないかね

……
これなんかどうかね

うー しぶいなあ
しぶー!!
それじゃ…これなんかどう
フーム どうもパッとしないわねえ
あら…そのわきのそれ見せっ
えっ これ
オッそれいい感じっ
見て!! イカスでしょ
なんだそれ…すごい模様だなあ

そいつは
なにしろ
嵐の夜に編んだ
からね

嵐の夜に
編んだ…!?

うん……
普通は
嵐の日にゃ
毛糸を編んだり
しないんだが
ワシ
あん時少し
リンゴ酒で酔っぱらって
いたでなあ
…じいさん…
この模様は
どうやって考えるん
ですか?

それはワシが
考えたもんじゃ
ねえんだよ
いいか
そのふたつ
模様を
見てごらん

これは海辺で編んだもの
こっちの方は……この峠で編んだもの
この峠で編んだ…
そうだよ さてと…毛糸編みの時間だ 君たちも来てみなさい
あらん…… あのじいさん 何始める気なんだろ

ヒュ〜…

サコサコ

ス〜

ヒュ〜〜…

笛の音色にあわせて枝が糸を編んでる……

サコ
サコ

フフッ
うまいもんだなあ

糸を編む枝のまわりには
いろんな色の毛糸の
入ったビンがおいて
ありました

ヒュー─ッ

ヒュー─ッ

アタゴオル物語⑥

サコ
サコ
サコ
サコ
サコ
サコ

そうか……
風に乗って浮かんだ毛糸が
編みこまれて模様になるのか

まるで……
風を編んでる
みたいだ……

……
この川セミ峠
ではね

色んな方向から
とぎれとぎれに
風が吹くんだよ

ヒュー

それで
こんな形の
模様ができる
わけさ

あ～～っ
あったかい
わ～～っ

風が吹くたび
ホカホカするんで
風が楽しみ
だわ
これで
今年の冬は
あたたかく
すごせるね

あれ……
この毛糸は
今までのと
ちがいますね

そうだよ
その毛糸で作ったものは
一つの方向からの風だけ
あたたかくなるんだよ

ひとつの方向…
そうだよ……何かを思い浮かべた時それのある方向から吹く風があたたかいんだよ

へーっ
うっそれほしいわ

………ぼくらは2種類の毛糸服を買いました
どんな風が吹いてもあたたかくなるセーターと

ひとつの方向からの風があたたかいマフラー

おかしい
なあ…

ねえパンツ
いろんな向きから
風は吹いたのに
みんな
冷たいぜ

じいさんが
話してただろう
…ただ風の中に
立っていても
だめなんだよ

ただ立ってても
だめなの?
そうだよ
頭の中で何かを
思わなくてはね

そして…あたたかい風が
吹くのは…その方向に
思ったものがある時なんだよ

テンプラのそばを
いろんな方向から
冷たい風が吹いて
行きました……

やがて……
とつぜん強く

ヒュ——
あたたかい風が吹きました

そうか…

この方向の
どこかに

昔なくした銀のハーモニカがあるのか

銀貨(ぎんか)8枚(まい)

ごくごくごく

ああ……
家に帰りたい
なあ……

あれっ
オッ…
ヒデ丸

今ヒデヨシ君の
家に行って
きたんですよ
オレの
家に!!

ヒデ丸
家のまわりに
だれも
いなかったか?

いませんでしたよ
……どうか
したんですか

いいのよ
そうか…… いないのか
ガサ ガサ
これで ひさしぶりに 家に帰れるな
よしヒデ丸! いそいで 中に入るんだ

あっ

いったいどうしたんですか
ううっもう大変なのよ

カラーンカラーン
オッけいほう草が鳴いている!!

しまったっ見張られていたのかっ
よし!!ヒデ丸2階に行こう

こらっヒデヨシッきょうこそにがさないぞ

たまったツケをさっさとはらえっ

お金がありません来てもムダです

なんだとっ 約束の日は とっくに すぎてるんだぞ
明日に しましょう
うそつけっ もうだまされ ないぞっ 今すぐ払えっ
ホラホラ 興奮すると ヒゲがとれますよ
ホーラ 興奮してきた
おい ヒデヨシ これが 見えるか

うっ
大砲!!

そうだ!!
今すぐ
銀貨8枚
払わないと
これが火を
吹くぞ
おとなしく
払え

もうすぐ
陽がくれます
みなさん
家に帰りましょう

なんだ
とっ
どうしても
払わん
つもりだな……
ようし……

うてっ

らっ

いくら大砲うっても
お金がないのよーっ

払うまで
うち続けろ

こっこうなったら
ヒデ丸地下の
ぬけ道から
にげよう
はい

ずい分
大きな地下道
ですね
3年がかりで
掘ったのよ

ふう

ここまで
来れば安心だわ
……
ハア…
ハア…

しかし……
なんとかして
ツケを
返さないと
大変ですね
そう
なのよ

オレ働きたいんだけどどこでもやとってくれないのよ

うちの親方も仕事を探してるんです
あら
どうか
したの？

ハイッうちの床屋は夏でも客が少ないんですが冬は猫が髪を切らないのでまったくひまなのです

それで冬の間だけでも床屋のかわりに何か店を開きたいと考えているんです

オレもツケをなんとかしないとなあ
あれ!?

それから5日後

ドンドン

プップー

本日
風鈴森に
店開きだよーっ
おいしいコーヒー
甘いケーキが
お客様を
お待ちしてますよーっ

働くのよーっ
働いてツケを
返すわよーっ

よう…
どうしたんだい?
コーヒー屋さんを
始めたのよ

コーヒー屋

うん
霧ふみ森の
奥の方で
コーヒー豆を
見つけたんだよ
コーヒー
"アタゴオル"は
いかが
ですかーっ

アタゴオル
味か…

アタゴオル物語⑥

これ
開店祝い
です
わざわざ
どうも
ありがとう
チンプラ君
いらっ
しゃいませ
コーヒーは
アタゴオル・赤・青・白の
3種類…ケーキの方は
栗・みかん・ざくろと
なっております
それじゃ…
アタゴオルの赤と
みかんケーキ
はい
わかり
ました
モゾモゾ
少々
お待ち
下さい

アタゴオル物語⑥

アタゴオル
豚とみかん
いっちょう

イエッ
りょーかい

ハイ
お待たせ
しました

お湯は
少しずつ…と
…

いらっしゃい
ませ
いらっ
…あっ

酸味がなくて
うまいよこれ!!

ゴクッ

いかが
ですか

おっ
いたぞ

おい
もう
にがさないぞっ

銀貨8枚
さあ払えっ

うう
今働いてるから
もう少し待ってくれ

ほう
にげまわって
遊びほうけて
いたが
とうとう
働き出したのか

お金もらったら
ツケを
返すよ

おじさん
こいつが銀貨8枚
かせぐには何日
かかるかね

そう
ですね…
売り上げにも
よりますが
10日位かかり
ますね

10日か……
そんなには待て
ないが……よしっ

5日間だけ待っ
てやる5日たったら
金を持ってこいっ!!

…5日か……
ようし

かせぐっ!!
必ずかせいで
返すぞっ

アタゴオル物語⑥

テンプラ君
コーヒー
おかわりは
いかがですか
アタゴオルの
弥をもう一杯っ

なんだ
お前
そんなに
ツケを
ためてた
のか
そーなのよ
働くのよーっ

イエッ
ありがと
さんっ

パラン草の
お客さんに
アタゴオルの
青ね
イエッ

ゴリ
ゴリ
ようしっ
がんばる
ぞ~~~っ
ゴリ
ゴリ

そして
5日後

ねえ
ヒゲ丸
三角水晶の
お客さんは
コーヒー
飲み終えたかな

ええ
たぶん…
どうかしたん
ですか
あのね

もしもし
お客さん

うちの
おみやげ品は
いかがかね

おみやげ品?

どうや?
タコ人形!!
安いよっ

アタゴオル物語⑥

いらないよ
そんな方にはこのマグロ人形がありますよ
そんな話は聞いたことがないね…
それよりコーヒーのおかわりをくれ
わおっありがとさん
こうしてながめるとコーヒーの味が千倍もおいしくなると森中でひょうばんですよ
ねえおやじさんあとどれ位売れたら銀貨8枚になるかな

そうだね……
コーヒー40杯ってとこかな

40杯か……
よし!!

おいしい おいしい コーヒーは いかがっ
コーヒー コーヒー

ふみ森で発見されたアタゴオルの味っ
おいしいよーっ

ざくろに みかんに 栗ケーキも あるのよ〜〜〜っ

ケーッキー
コーヒー!!
コーヒー!!
ドドン
ドン
ドンドン
ドン
ドドドドドー
ドドン
ドドン
ドンドン
ドドン

あいつ働く時は必死で働くんだなあ

きょうはツケを返す日なんだよ

ヒデヨシ君あと15杯ですよ15杯!!

ようしがんばるぞーっ

おいしいコーヒーはいかが〜っ
ドドーン
ハア
さて…売り上げはどうなってますか
ひと・ふた・さんま・しおごま・ろーそく
それでは本日の売り上げを発表します
なんと!!銀貨18枚銅貨9枚ですっ
やりましたよ
わおーっ返せるぞーっ
やっとツケが返せるぞーっ
時間はまだ間に会うけどいそいだ方がいいですよ

ハァ
ハァ

ツケを返したら
きょうは
家に帰って
ぐっすり眠りたいわ

5日間
ずっと
働いたからなあ

しかし
これで借金とも
おさらばさっ
オレの
汗の結晶

銀貨8枚か

銀貨

8枚…

いらっしゃい

紅マグロ一匹くれっ

星(ほし)の背骨(せぼね)

コポ
コポ

コポ
コポ
コポ

ふう

冬の星を見るにはどうも寒くてあつかんがかかせないな
猫正宗を飲んで星をながめて

それから
粉雪亭で
コーヒーを飲む
これが冬の夜の
すごし方です

いい
ですねえ

それにしても
今夜は大気が
冷たくて星が
よく見えるね

うん
釣り針星製の形も
星メガネでくっきり
見える

あの
針のまがりぐあいが
なんともいいんだよな

あっ

流れ星がっ

どうやら…サンゴの森に落ちたらしい

ヒデヨシが星笛吹いたのかな

いや 星笛を吹いたら必ず2、3個落ちて来るよ…

そういえばそうだよな……よし!! サンゴの森に行ってみようぜ

サンゴの森
シュー
シュー
シュー
シュー

しかし…落ちた所がサンゴの森でよかったなあ
そうだな サンゴの森は燃えないからいいけど他の森に落ちたら大火事になる

やあ天体少年
あ

こんばんは博士
すごいのが落ち■したね

ああ
天文台の窓からも
強い光が見えたんで
いそいで来たんだよ

この隕石は
巻きヒゲ座の方角から
落ちて来たようですね

うん 今頃の季節に
なると ふくろう座流星群
がずいぶん流れるんだが
それにしても巻きヒゲ座の
方角から落ちて……
来るとは……

オレは いままで
いくつかの隕石を
見たけど

こんなに
大きな隕石は初めてですよ

博士ちょ
っと来て下
さい この
隕石がっ
どう
したのかね
パレ君
ガサ
ガサ
あっ

シュー
シュー

フーム　わしも何度か隕石が落下した現場に行ったことがあるがこんな物体は見たことがないよ……

博士……何かの卵ではないでしょうか？

…もし卵だとしたらこれだけの熱でも割れない以上殻はかなりかたいと考えられるな
シュー
シュ

卵ではなくなんらかの鉱物だとしたら今までアタゴオルで発見されてない新しい鉱物かもしれないね…

新しい鉱物

うむ…とにかく隕石の熱が冷えたら天文台にはこんで調べてみよう

それじゃ

ホホホホホッ

みんながほしが■
■いしい卵…

ホホホホ

おお……
アルボタ

イエッ
いらっしゃい
こんばんわっ

こんばんわ
なあ
ヒゲ丸！
ヒデヨシいつから
店にいた？

ヒデヨシ君なら
お昼からずっと
店にいましたけど
どうかしたん
ですか？
サンゴの森に隕石が
落ちたんだよ

隕石が落ちた!?
そういえばさっき大きな音がしましたね

そうか……おまえいたのか
うん そん時豆ひいていたのよ〜っ

ヒデ丸コーヒーをふたつね
はい

いつものふたつ
イエッ了解

どもども
おまちどさん
オッいいニオイ

きょう親方とあいませんでした?

いやあわなかった
けど……
唐あげさん
どうかしたの？

はい……
桃色三日月の夜が
近づいている
らしくて…

きょうの朝
突然アルボタと
叫んで出て行ったっ
きり　いまだに
帰ってこないのです

アルボタ？

はい
親方は　桃色三日月が
近づいて来ると時々
意味のわからない
言葉をしゃべるのです

桃色三日月が
近づいているのか

ところでサンゴの森
どうでした？
うん
天文台のパレ君が
水色の卵型の
物体を見つけたん
だよ

よく日の昼

へーっ水色の卵型の物体!!

きのうは気が高ぶって明け方まで眠れなかったよ

なんだかわくわくしますね
わしが天文台に来てから一番の発見になるかもしれないよ

あっ

卵なのかそれとも新しい鉱物なのか

アタゴオル物語⑥

こっ
これは!!

……
すっかり
けずり
とられている

フーム
鉱物収集が
好きな者の
しわざかも
しれないな……

たっ大切な
天文学の
資料なのにっ

ようしパレ君
伝書板だっ
森中に伝書板を
さげて なんとしても
さがし出すんだ
はい

アタゴオル天文台

博士
そう気を落とさないで下さい
うむ……

あれっ
これは…
なんの図ですか

それは隕石の拡大図だよ
その円い粒は銀結晶といってね隕石にだけ見られるんだよ

銀結晶
フーム………
どこかで聞いたことがあるな

なにかの本で見たんだが……

天体の本じゃないの?
たしか生物の本だと思うんだが

アタゴオル物語⑥

……………

生物の本で…?
生物の本に隕石のことが出ていたんですか?

家に帰ったら調べてみます

それから2日後

しかし…天文台の日誌というのはずいぶんあるものですね

うむ……わしもあの水色の卵型物体が気になって古い記録を調べてるんだが
日誌の数は2000冊近くあるんだよ

満月の夜
サンゴの森に落ちた隕石の中に
水色の鼎型の物体が
入っていました　それを持ち帰った方
あるいは持ち帰った方を
目撃した方は　どうぞ
天文台にお知らせ下さい

キーッ

いらっしゃいませ
あっ…こんばんわ

いらしゃい
やあ…唐あげさんはいつ帰って来たんだい？

きょうの朝方らしいですよ
オイラが昼起きたら
コーヒ豆の倉庫の中で
寝ていました

コーヒー豆の倉庫の中で……
はい　親方は店を出てから倉庫で
気がつくまでなにをしていたのかおぼえてないのです
いつものやつでいいですか
うん

アタゴオル物語⑥

いつものやつ
イエッ了解

あらっ豆がないわ
倉庫へ行ってとってこよっ

るん
るるん

いちいち注文のたびに豆ひくのはめんどくさいのよね

フフフッ
ぬかの目博士に作ってもらったこの豆ひき機さえあれば

豆をぶちこむだけでなんばい分でもひけるのよ

あらん

なんだこれ……

フーム……
水色のコーヒー豆とは
めずらしい……

だが
どんなに
めずらしくても
まとめてひいて
しまえば
みな同じよ
ゴリゴリ
ゴリゴリ

ゴクッ
ふう

そういえば
この前の本
見つけたよ
生物学者の
パロル博士が
書いた本だよ
へーっちょっと見せて

背骨を持った動物の
背骨の中には
必ず一個
銀結晶があるのを
発見した………

背骨の中に
銀結晶…

……私は…
すべての生物のうち

隕石にふくまれるのも
鉄結晶

パンツ
天文台へ
行ってみよう

そうだな
あの卵型の物体も
気になるし

アタゴオル天文台

本日くもり
東の空観測
できず……

ん…？

夜半
蛇腹沼の岸に
隕石が落下

割れた
隕石の中から…

水色の卵型の物体を発見したっ

よく日 天文台に持ち帰り調べる
石のようではあるがこの星では見たことのない物質……いろいろとためしたのち無害なのでなめてみたが味はない…だが まもなく

……卵石の粒を粉にして私はほかの猫や人 鳥 カエル いろんな動物 植物にためしてみた…
……すると反応のあったものと反応しないものに分かれた……

反応のあった生物たちにたったひとつ 共通する点は
「背骨を持っている」ということである

アタゴオル物語⑥

私はいろんな動物の
背骨を調べた……

あの卵こそ
背骨と……
……
……

博士
卵を持って行った者を
目撃した方が
来ました
えっ

本当ですか
目撃したと
いうのは?
うんオレは
あの夜サンゴの森で
鷹あげ丸さんが
卵を持って
走って行くのを
見たよ

コーヒー店の
鷹あげ丸
さんが!!

ハア…

……
……
……

やあ博士
いらっしゃい
鷹あげさん
ワシにぜひ
あの水色の卵石を
見せてくれたまえっ

水色の
卵石…？
なんですか
それ？

あなたが
サンゴの森に落ちた
隕石から卵型の石を
持って行ったでしょう
ちゃんと目撃した者も
いるんですよ

隕石
卵とか
いったいなんの
ことですか？

博士…
親方は
あの日の記憶が
まったく消えているんです

記憶がないって…
そんな…

あの隕石は
背骨と
隕石をつなぐ
大切なものなんだよ

背骨と
隕石…？
うん

隕石の中には
銀結晶が　たくさん
入っているんだが
動物の背骨の中にも
その銀結晶が
必ず一個入ってることが
わかったんだ

…背骨の中にはね
流れ星のカケラが
入っているんだよ
あの隕石を
粉にして
体の中に入れ
るとね

背骨の
中に……
そうだよ

背骨の中にある
銀結晶が反応して
その銀結晶を
ふくんでいた昔の姿を
再現するんだよ

…昔の姿

なんとか
思い出して
下さい
水色の
卵型の石
水色…
あら…
水色と
いえば…

…そういえば
コーヒー豆の倉庫の
…豆の所に
投げたような

う

ヒデヨシ君
どうしたん
ですか？

オレ さっき
金庫に行った時
水色のコーヒー豆
みたいなの見つけた
のよ
そっ
それだ

それ
どこに
ありますか

おかしな色だと
思ったけど
形が似てるから
他の豆といっしょに
ひいて…パンツと
テンプラが飲んだよ

えっ
テンプラ君
パンツ君
飲んだっ

静かな冬の
野原では
たくさんの星と
白い三日月

そして…

アタゴオル物語⑥

ゆっくりと回転(かいてん)していました

おしまい

乾杯（かんぱい）

らん
らんらん

しかしおまえ
どうしてこんな道を
知っているんだい？
このあたりは
迷いこんだら　なか
なか出られない所だよ

オレよ時々
オクワ酒屋で
酔っぱらって　家に
帰ろうと歩くんだ
そして
お昼ごろ気がつくと
この辺で寝てるんだよ
ひどい
方向音痴
だな

でもよ
そのおかげで
大発見を
したのよォ

大きな馬が
背中をキラキラ
光らせて
じっと立っている
のよっ!!
しかし…
本当かなあ
本当よっ
ホラ
あそこだよ
あ

ヒデヨシ……これはイスだよ

イス？
ああ…馬の形に似てるけどイスだよ

イス
ずいぶん昔に作られたものらしいな

でもよテンプラ…イスならばどうしてあんな所が光るんだろ？

フーム おかしい光り方をしてるね

あれ

…どこかで
この印見た
ことがあるぞ

オッ
そういえば
オレも
見たことがあるぞ

どこで
見たんだろう
く〜〜〜っ
思い出せ
ないわっ

粉雪亭

大きなイス
そうよ 形が馬なのよ〜〜っ

かなり昔に作られたものらしいんだが イスの上の部分がキラキラ光ってるんだよ

光ってる!?
うん… そのイスの足の所にこんな印がきざんであったんだ

あれ…… これ どこかで見たことがあるぜ

オレも見たのよーっ 思い出せないのよ〜〜っ

みんな見てるのか… しかしどこで見たのかな…

フーム
おや……

みなさん それは
ラベンナ彗星を
表わす印ですよ

えっラベンナ彗星!!

……たしか
10何年に一度この星に
近づいてくるという…

ええ 14年周期だそうです
昔 私が青猫島で
床屋をやっていた時
となりの床屋のおやじが
天体好きでしてね
なんでも小さい時
その彗星を見たらしく
床屋の名前に
「ラベンナ彗星」と
つけていたんですよ

14年周期で
宇宙を回転する彗星と
……あのイス……

ふしぎな
輝きだ……

光が集まって来てる
みたいだな

これを
つけてと

やあ
諸君!!

急に
どうしたんだよ

ワシはこのイスをきのうから調べているスミレ博士というもんだが
このイスを調べてもムダなことじゃよ

ムダ
そうじゃ このイスの使用法はワシが解き明かしてしまったんじゃよ

…いいかね… このイスにはいくつかのナゾがある その第一番目はどうしてイスがこんなに大きいのかということだ

答は簡単… イスにすわった奴が大男だったのよ

えっ

……しかし もし大男なら そいつはなんのためにこんな所にイスをおいたんだい？
それは大男が木こりだったからじゃよ

アタゴオル物語⑥

木こり
そう
しかも
働き者じゃ

大男は毎日森で
木を切る　額に汗が流れる
ふう少し疲れたな…よし
ひと休みしよう
そう言って
男は
このイスに
腰かけたのよ

するとサササッと
すずしい風が吹く
ゆらゆら木の葉が
ゆれている
あ〜っ働くことは
すばらしいことだ

あれ

コラ　君たち　話は
最後まで聞きたま
えっ
いーから
そこでひとりで
しゃべってなよ

学者とは
いつも孤独な
ものじゃ

…おや… 何してるだね
あ…… こんにちわ

このイスをちょっと調べているんです

そりゃらベイスだな

らベイス?
そうだよ 昔からそう呼んでるよ

おじいさん このイスのことで知っていることがあったら教えてもらえませんか?
わしは木こりだから なんも知らんがね…… あのキラキラ光ってるのが消えるよ

光が消える?

ああ… 昔から あの光は14年に一度消えるんだが 今年がその年なんだよ

14年に
一度

14年といえば
ラベンナ彗星の
周期も14年だったよね

ラベンナ彗星
…………

しかし…
この印
どこで見たのか
なあ……

オレもテンプラも…
ヒデヨシも見たことが
あるのに…どうも
思い出せないな

寒くなってきたわね
そろそろ陽がくれるな

よし きょうは引きあげて明日の昼にここに集まろうぜ
おう

よく日の昼
うーっ

パンツおそいなあ
あれ唐あげ丸きんとヒゲ丸だ
やあこんにちわ

これがラベンナ彗星の印のついたイスですね
ずい分大きいですね

所でテンプラ君この間話したラベンナ彗星のことなんですが

青猫島天文年鑑を調べてみたところ…あの彗星は14年ぶりにきょうから明日にかけてこの星に接近するんだそうですよ

えっ
きょうから
明日にかけて!!
そのころパンツの家では
印……
…印……
森…ふう
ヒデヨシもオレも
テンプラも見ている
…ラベンナ彗星の
印…フーム
いったい
どこで
見たんだろう…
よし……
そろそろ
行かなきゃ
そうか
タクマの家に行く途中の
道にあるあの石だ
そういえば
タクマから借りた
マフラー返さ
なくっちゃな

これだ……
この印だったのか

いつもは何げなく通りすごしていたんだが……
ラベンナ彗星の印とは知らなかったなあ
ガサ

ガサ

これは…

「ふたりはすわり
ふたりが求める
ラベンナの日に
声をして」

…ふたりは
すわり……
………
ラベンナの日に
……すわり

…ラベンナ彗星の日
ふたりは……
あのイスにすわり
…声をしてふたりが
求める……

うーっ
つかれたわ

よっこら
しょっ
ドン

そうか
きょうは彗星の
接近する日だったのか

アタゴオル地方では見えないようですね

彗星か……一度見てみたいもんですね
そうだね見てみたいねえ

……それにしてもきょうはずいぶん寒いな

う〜っ本当に寒いなあ

あっ

ジャバラヌマノ
アオギリイワタ
ホレ
ジャバラヌマノ
アオギリイワタ
ホレ

ドスッ

こっ
これは!!

ジャバラヌマノ
アオギリイワヲ
ホレ
ジャバラヌマノ
アオギリイワヲ
ホレ……
フラ
フラ

テンプラ君
しっかり
して下さい

膚あげさん
あ パンツ君
たいへんです

いったい
どうしたん
ですか?

テンプラ君と
ヒデヨシ君が
急に変な声で
蛇腹沼の青霧岩
を掘れと
さけんだんです

え…青霧岩を

ガシッ
ガシッ

ガシッ

あんなに
かたい岩を
ガシッ

………休みもしないで
掘り続けている

この岩の下に
何があるんだろう

しかし…
ふたりは
どうして急に
あんな風に
なったんですか
さあ…

………私にはわかりません
ふたりともあの
イスにすわっていたん
です　そして急に
イスに
すわっていたっ
ええ…どうか
したんですか
ここに来る時
彗星の印のある岩を
見てきたのですが

その岩に
古代ヨネザアド文字で
「ふたりはすわり
ふたりが求める
ラベンナの日に
声をして」と
きざまれていたんです

ふたりはすわり
…ふたりが
求める…

「ふたりは
すわり」とは
ふたりがあのイスに
すわることだと
思うんです
えっ

そうです……
オレはここに来るまで
この言葉を
色々と考えて来たん
ですが……

ラベンナの日とは
ラベンナ彗星の日

ラベンナ彗星の日
それじゃ……
「ふたりは求める
声をして」というのは？

ふたりが声を出して
何かを求めるという
ことだと思うんです

何かを
求める…

ええ!!
イスにすわったふたりは
何か言ってませんでしたか
さあ?
…あ

ヒデ丸
おぼえてるのかい!?

たしか
「寒いな」と
言ってましたよ

寒い!!

寒い……
背負岩を
掘れ…か…

シューッ

何も
おぼえて
いないのか
ああ

イスにすわって
ふたりで寒いなあと
言った所まで
おぼえているんだが

あーっ

いい
湯かげん
だわ

そうか…
あの印は
タクマの家に
行く途中にある
岩についていた
のか
うん

岩にきざまれていた
言葉はね
ラベンナ彗星が接近する日に
あのイスにふたりですわり
声を出して何かを求めれば
その答がってく
という意味だったんだ

そう
だったのか…

テンプラ君と
ヒデヨシ君が
来いと言ったので
こうしてアタゴオルに
温泉がみつかったん
ですよ

フフこれで
毎日
朝ブロに
入れるわ

おっ

あったまって
来ましたよ

え〜っ
それでは

果てしなく
宇宙を流れる
ラベンナ彗星に…

イエッ
ラベンナ彗星に

かんぱーい

アタゴオル物語⑥

サンコミックス

(910640)

著　者　ますむら　ひろし

発行人　喜　久　村　　繁

発行所　㈱朝日ソノラマ
郵便番号104
東京都中央区銀座4丁目2番6号
第2朝日ビル
TEL(563)6021 振替 東京2-40311

印　刷　フォト印刷株式会社

製　本　大和製本株式会社

ISBN4-257-91640-0